

国土交通省建設技術研究開発助成研究(2012年～2014年)

研究課題： 限界耐力設計法に対応した免震構造の開発

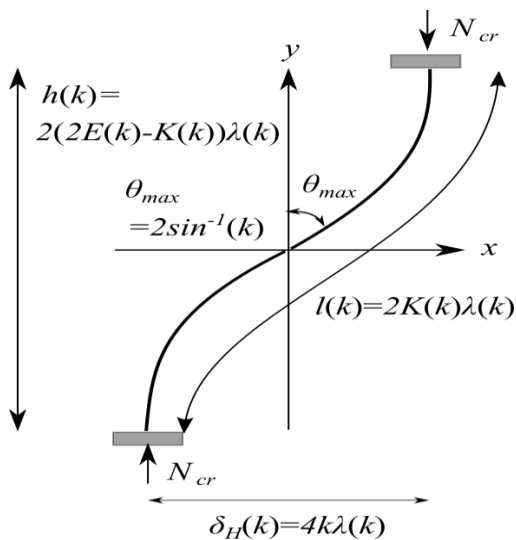
研究期間 : 平成 24 年度から平成 26 年度
 研究代表 : 西村 功 (東京都市大学 教授)
 共同研究者 : 豊嶋 学、鈴木敏志 (東急建設)

研究目的: 免震構造の持つ高い耐震性能は、東日本大震災の際にも実証されているが、被災地の復興に役立つ技術とするには、設計手法を簡易にすることや、より低価格で免震構造を実現する工夫が必要である。そこで、建築確認申請のみで免震構造の設計(いわゆる告示免震)を行うことを目標とし、市販されている一般的な免震構造用積層ゴム支承に比較して、2倍以上の変形性能を持ち、小型で低価格な高性能積層ゴム支承の実現を目指す。

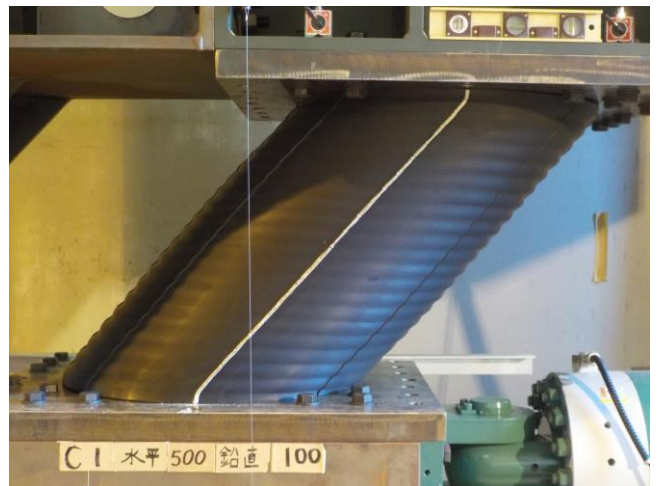
◇加力装置 (東京都市大学 構造実験室)



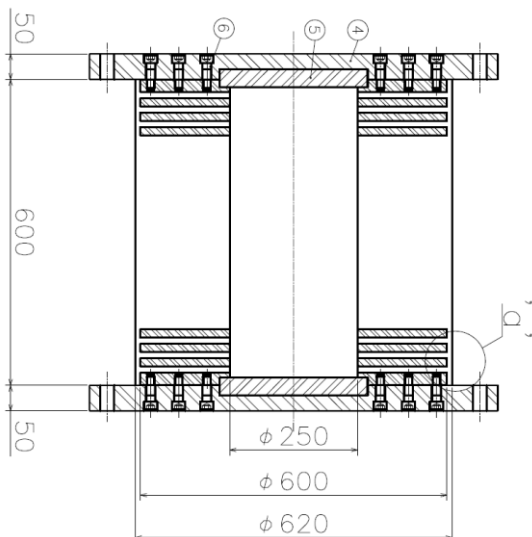
◇理論研究 (幾何学的な大変形理論)



◇実験状態



◇プロトタイプ試験体形状



◇荷重—変形実験結果

